

トキワランバテック株式会社 [卸売業]

所在地 | 〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目14番16号トキワビル 7・8階 WEB | <http://www.tokiwa-lumbertec.co.jp>
TEL | 052-331-2481 FAX | 052-331-2485 MAIL | info@tokiwa-lumbertec.co.jp



～木質素材の出口を作る会社～
私たちは木質資源を最適な方法で
提案するモノづくり企業です。

私たちは85年前に北海道の丸太を愛知県で販売することで事業を興しました。変化していく社会に対して、新しい木材の利用方法、需要をつかむことが得意だということに気づき、15年程前に事業ピボットをしました。「木」というサステナブルな素材を切り口に、変化していく時代に対応した製品を投入しつづけることで、人と自然の新たな調和を目指し、あなたの「こんなものを作りたい!」を実現します。



取組内容

アップサイクルウッドを利用した キャンプ用品の開発

当社は創業以来様々な木材加工メーカーとものづくりを行っており、国産材の受給率を高めるためのSDGs活動を推進してきました。カーボンニュートラルという地球環境というマクロ的視点になりがちですが、国内の森林保全にも目を向け、一般消費者の方にも身近な森林や木を大切に作るミクロな視点に気づきをもたらせたらと思い参加しました。本事業では、アップサイクルとなる素材を安定した品質の材料として仕入れるため、ルート確保から始まり、用途の加工工程を施すなど新たなシステム開発を中心に行いました。試作のフィールドテストやアウトドアイベントへの参加を通じてユーザーの反応に良い感触を得ることができたと感じています。

本事業を終えて

SDGsをテーマに商品開発に取り組めたことは 自社の取り組みを内外に公表できる 貴重な機会となりました。

当社はBtoB、BtoBtoCといった製品を扱うメーカーに位置しています。そのため、クライアントとの守秘義務の関係から自社の成果品を公表することはありません。本事業のような行政の支援により、当社の国産材の受給率を高めるためのSDGs活動をテーマに独自商品の開発に取り組めたことは、時間的な制約やマンパワー的な問題はありましたが、自社の取り組みを内外に公表できる貴重な機会となりました。こういった機会のひとつひとつが、今後のビジネスに新たなネットワークを与え、新しい事業へと発展していくことを期待しています。

マークセラピー株式会社 [小売業]

事業統括部マークセラピー研究所 | 〒466-0046 名古屋市昭和区桜山町1丁目20 WEB | <https://www.marktherapy.com>
TEL | 052-842-3377 FAX | 052-842-3377 MAIL | mail@senapin.com



施術院から研究、商品開発まで。
身体の悩みの根本解決を使命として。

マークセラピー研究所は、「さわやかマーク整骨院の外来」、「S-sleep(エス・スリープ)枕外来」等の外来と、主に運動器障害への施術対応を啓蒙する3つの研究会、健康を目的としたセルフ整体商品の開発事業の3つの柱で、総合的にケアを行っています。健康維持というテーマには、様々な分野がありますが、その中でも、骨格や姿勢には大切な役割があります。腰・首・肩などの骨盤から脊柱を正確に整えると体の不調が解消されることが少なくないのです。その因果関係に興味を抱き、研究論文の作成や骨格を考慮した商品開発等を行って参りました。



取組内容

家庭用自分整体グッズの器具開発と カーボンフットプリントを活用した PRツール開発

当社は、患者の治療に携わる中で積み上げた経験を活かし、独自の施術道具や患者の生活環境で使用できる治療器具を開発してきました。しかし、今や患者の健康を支えるだけでなく、地球環境に配慮した製品であることも患者のニーズと捉え、カーボンニュートラルに挑戦すべく取り組みました。本事業では、担当デザイナーへの、患者の臨床の検知から考えた器具のプレゼンテーションから始め、ユーザーにどのようにPRするかについて検討を重ねました。器具の製造現場においては、製造ラインのエネルギーを再生可能エネルギーで行われているかを確認し、原材料における温室効果ガスの排出量を測定するなど、今後のPRに向けて準備を進めました。

本事業を終えて

生活環境にまで視野を広げると 社会に対しても貢献できる商品である 必要性を痛感しました。

これまでは、患者の治療にフォーカスをしてきましたが、生活環境にまで視野を広げると社会に対しても貢献できる商品である必要性を痛感しました。健康器具の業界では、患者の肌に触れる商品なので安全性を最優先した保守的な素材でつくる必要があるため、まだまだ環境を意識した商品は数少ないと思います。患者の体に対する不安が取り除かれ健康に過ごせることを期待する商品であることは必須ですが、カーボンニュートラルに向け、一歩ずつできるところからでも行っていく当社の活動が、業界的にも環境配慮を意識した商品に波及することを期待しています。

株式会社マルワ [製造業(出版・印刷)]

所在地 | 〒468-0011 名古屋市天白区平針4丁目211番地 WEB | <https://www.maruwanet.co.jp>
TEL | 052-802-4141 FAX | 052-802-9355 MAIL | info@maruwanet.co.jp



人がつどい社会に発信する会社 持続可能な社会を目指して

株式会社マルワは、企画・制作から印刷、納品までワンストップで行う印刷「も」できる会社です。コンパクトな会社ならではのスピーディーかつ柔軟なサービスを強みとしています。また、本業の商業印刷に留まらず、お客様の想いをかなえるために印刷以外のツールも積極的にご提案しています。ご提供するサービスに、自社の環境活動をベースにしたカーボンニュートラル、SDGs、CSRといった企業価値向上のためのノウハウを惜しみなくお客様の発信の課題解決にご提供させていただきます。



取組内容

サーキュラーエコノミーを体現する地産地消の バナナペーパーによるアップサイクル製品

当社は、カーボン・オフセットによるノンカーボンプリントやサーキュラー・エコノミーに繋がる活動等、CSR活動を積極的に取り組んでいます。その中で、岐阜市の障がい者施設で栽培されたバナナの茎を収集し、美濃和紙の製法で古紙と混ぜ合わせたバナナペーパー「吉報紙」を、幅広い方々に親しんでもらえる商品として制作したく参加しました。外部プロデューサーの指導を受けながら、社内デザイナーを活用した商品開発を行う中で、バナナペーパーの特徴についてさまざまな観点から考察および検討ができたことは非常に新鮮でした。また、すべてを外部に委託するのではなく、開発体制に社員も取り込めたことは今後の開発にもつながる内容になりました。

本事業を終えて

この商品を通じて、環境意識に気づくユーザーが 出てきてくれることを期待しています。

当社では、2005年の愛・地球博を機に、環境意識の高いユーザーに向けて、環境、SDGsといったCSR活動を積極的に行ってきました。今回の事業をきっかけにユーザーの裾野をさらに広げ、この商品を通じて、環境意識に気づくユーザーが出てきてくれることを期待しています。燃やすことを前提としたバナナの茎を原料とすることで環境配慮に繋がるとともに、地産バナナペーパーにより、障がい者の就労や地域性を新たな価値に変換した環境配慮商品として一般消費者にまで広く活用してもらうことを期待して、丁寧なプロモーションを行い販売につなげていきたいと思っています。